

日本保健医療行動科学会・日本禁煙科学会 共同企画
行動変容のための One day・workshop in Cambridge
～ナラティブ・アプローチによる効果的な質問法～

昨年、国際保健医療行動科学会にてナラティブ・アプローチによる効果的な質問法の一泊講習会が開催され、それが相手の行動変容を効果的に起こすのに有用なだけでなく、禁煙支援の場でも実際にたいへんに役立つスキルであることが確認されました。

そこで、今年度は日本禁煙科学会と日本保健医療行動科学会の共同企画として、昨年と同じ講師による「ナラティブ・アプローチによる質問法の講習会 One day・workshop in Cambridge」(ケンブリッジ ナラティブ質問法一日講習)を開催する運びとなりました。

日本保健医療行動科学会の中川晶会長による説明を添付します。みなさまのご参加をお待ちしています。

日時 2015年9月6日(日) 午前10時～午後4時

場所 ケンブリッジ大学 Downing 校

受講料 5万円

申し込みアドレス jimu@jasc. jp 申し込み締め切り 9月1日

(詳細な場所等は後日連絡しますが、往復の交通手段や宿泊は各自で手配ください)

【以下、中川晶会長による説明】

様々な問題行動が変わるためには、本人の物語(ナラティブ)が変化する必要があります。強制的に行動を変える方法もいくつかあります。罰則を強める、報酬を餌にするなどです。しかし、行動が根本的に変化するのには、外側からの「変える」ではなく「変わる」つまり本人自らが気づき、変わりたいと望むことから始まります。

そのために我々援助者は何が出来るのでしょうか?聴くことが大事とはよく言われますが行動変容を促すには聴くだけでは不十分であり、質の良い質問をするという介入が重要です。

ロンドンの John Launer 博士たちのグループは10年以上に渡りナラティブ・アプローチを医療に取り入れる医療従事者のトレーニングにこの質問法を応用し大きな成果をあげています。日本保健医療行動科学会でもこのようなトレーニング法を取り入れようとしています。昨年は国際保健医療行動科学大会でも Launer 博士らのワークショップを行い好評でした。今年はケンブリッジ大学 Downing 校にて9月6日に Launer 博士らの1日ワークショップを行います。行動変容を促す効果的な質問法とはどのようなものか是非、ご体験ください。尚、大学近傍には格安の素晴らしい宿泊施設が整っています。

日本保健医療行動科学会 会長 中川 晶

プログラム（変更になることがありますのでHPにご注意ください）

10:00-10:10 開会

10:10-10:20 日本におけるナラティブ・アプローチの重要性

中川晶（奈良学園大学）

10:20-10:30 禁煙支援におけるナラティブ・アプローチの有用性

高橋裕子（奈良女子大学）

10:30-12:00 ナラティブ・アプローチによる質問法の実際

John Launer

<昼食（各自でおとりください）>

13:30-15:30 実技実習

15:30-16:00 総合討論・質疑応答

16:00 閉会

（現地の内藤ドクターによる日本語同時通訳あり）

日本保健医療行動科学会・日本禁煙科学会 共同企画

ナラティブ・アプローチのためのプレセッション

このたび、「ナラティブ・アプローチによる質問法の講習会 One day・workshop in Cambridge」
(ケンブリッジ ナラティブ質問法一日講習)を9月6日に開催しますが、それに先立ち、
英国と日本のナラティブ・アプローチの現状について理解を深めるプレセッションを開催
します。みなさまのご参加をお待ちしています。

日時 2015年9月2日(水) 18:30~20:30

場所 シャーロックホームズホテル (Baker Street)

参加費 無料・申し込み不要(当日参加可)

<プログラム(変更になることがあります)>

18:30-18:40 開会

18:40-18:55 日本でのナラティブ・アプローチの現状 高橋裕子(奈良女子大学)

18:55-19:10 禁煙支援へのナラティブ・アプローチの応用 三浦秀史(禁煙マラソン)

19:10-19:40 医療者へのナラティブ・アプローチ教育の現状 John Launer

19:40-20:30 総合討論

20:30 閉会